

地

域に暮らす皆さんが、郷土への愛と誇りをもって今まで磨き上げてきた個々の観光コンテンツ。1つひとつは、素材の力に加え、先人や今を生きる地域の皆さんの尽力で唯一無二の光を放つものになっています。しかし、それらの連動性が乏しいため、今以上の結果に結びついていないのが現状です。

福智町では現在、個々の魅力と携わってきた人の想いを無駄にしないため、菌車のように各観光資源を連動させ、地区全体の魅力向上を目指す「上野ブランド化」を進めています。地区内で観光から宿泊まで完結できる「滞在型観光」の実現を目指すこの取組。今後、県や国の補助金を活用し、地域にない観光要素をもつ企業の誘致や、町有地の有効活用などに取り組みでいく予定です。

人口減少や高齢化、地域経済の衰退が急激に進む福智町。解決するにはまちづくりで関係人口や交流人口を、移住で定住人口を増やす他すべはありません。地域に点在する光を集め、まばゆい光「眩光」を生み出そうとする住民の皆さまと福智町の挑戦は、どんな未来の姿を照らし出すのでしょうか――

福智町の取組をご紹介します

Tourism Measures 1 ▼ クラフトサケ醸造所 開設予定者の誘致



単なる特産品としてだけでなく、上野焼・農業振興など、多方面での相乗効果が期待できる「クラフトサケ醸造所」の誘致に向けて開設予定者を募集中。

Tourism Measures 2 ▼ 町有地の有効活用を検討



旧天郷荘跡地をキャンプ場として活用できる可能性を調べるため、民間力を導入してコンサルティング調査を実施中。結果を基に検討を進める予定。

Tourism Measures 3 ▼ 弱点強化のため 飲食店を誘致



観光の要である飲食店が少ないという課題をもつ上野地区。地元食材や上野焼のPR効果が期待できる飲食店の誘致に向けた取り組みを強化する予定。

Tourism Measures 4 ▼ 福智山登山の案内本・地図を刷新



新たな情報や登山コースを盛り込んだ、福智山トレッキングガイドブックと地図をリニューアル。福智町役場や「ふくちのち」などの公共施設で配布中。

受け継ぎ 磨き上げた 光を集めて

これまでフィーチャーした皆さんや今回ご紹介しきれなかったかたなど地域活性化のため活動するすべての人の取り組みと想いを無駄にせず、生かすため福智町は新たな観光施策に乗り出しています。予想よりも急激に進む、歯止めの利かない人口減少や高齢化、地域経済の衰退など福智町に落ちる黒い影――晴らす光を手繰り寄せて町を明るく暖かく照らしたい。地域全体を巻き込んだ新たなまちづくりが始まっています。

Interview ▶ お世話になった福智町のため、観光のまちづくりの後押しを！

平

成15年4月から2年間、県庁より福智町（旧金田町）へ派遣され、町の皆さんにお世話になりながら、地域の魅力を直に学んで帰りました。今ではその経験も生かしながら、県の観光政策を担当しています。現在、福岡県の観光客数は、コロナ禍前の水準に回復しつつありますが、その多くは福岡市などの都市部に集中しています。福智町のように、県内には魅力的な観光資源をもつ市町村が多数あります。そのため県では、そうした観光資源をより多くの方々に知っていただき、県内を周遊していただくことが大切だと考えているため、県内の観光資源の魅力向上やプロモーション、観光客の受入環境の充実などに取り組んでいます。福智町では現在、町を挙げた「上野ブランド化」に励んでいると聞きました。お世話になった町に恩返しできるよう、県庁職員として町の挑戦を後押しできればと思います。



福岡県商工部
観光局観光政策課
課長補佐 眞鍋 孝博